



public sector

# はじめてのクラウド for NPO

# NPO・非営利団体を支えるAWSクラウドサービス

アマゾン ウェブ サービス（以降、AWS）は、世界中数多くの非営利団体に対して、AWSクラウドサービスを提供しております。多くのNPO・非営利団体に共通する課題は、スタッフ不足、資金不足、時間不足です。これらのうち、スタッフ不足と時間不足については、クラウドを有効に活用し、コミュニケーションや情報共有を密にすることが課題解決につながります。

NPO・非営利団体様は「専任の技術者がいない」などの理由でなかなかクラウド移行に踏み出せないというご相談を多くいただいております。

そんな不安に対して、本文書では下記5点についてまとめました。

1. [クラウドサービス導入のメリット・デメリット](#)
2. [オンプレミスとクラウドの比較表](#)
3. [クラウド移行とは？わかりやすく解説](#)
4. [Windows Server 2012/2012 R2サポート期限終了はクラウド化のチャンス](#)
5. [クラウドバックアップとは？徹底解説](#)

# 1. クラウドサービス導入メリット・デメリット

◎メリット	×デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>- 柔軟なコスト運用</li> <li>- 運用負担の軽減</li> <li>- 拡張・バックアップが容易</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>- カスタマイズ制限の場合がある</li> <li>- セキュリティ強度がコントロールしにくい</li> </ul>

•**固定費が変動費へ** - 使用量もわからないうちにデータセンターやサーバーに多額の投資を行う必要はなく、使用した分だけ支払います。

•**スケールによる大きなコストメリット** - クラウドコンピューティングを使用すると、自社環境よりも低い変動費を実現できます。数十万単位のユーザーの使用がクラウドに集約されるため、AWSなどのプロバイダーは、コスト面で高いスケールメリットを実現できます。その結果、従量制料金も低くなります。

•**キャパシティ予測が不要** - インフラストラクチャのキャパシティニーズを予測する必要がなくなります。必要分のキャパシティにアクセスし、必要に応じてわずか数分の手間でスケールアップまたはスケールダウンできます。

•**速度と俊敏性の向上** - クラウドコンピューティング環境では、1回のクリックで新しいITリソースを利用できます。検証と開発にかかるコストと時間が大幅に減るため、組織の俊敏性も大幅に向上します。

•**データセンターの運用や保守への投資が不要** - インフラストラクチャではなく、ビジネスを差別化するプロジェクトに集中できます。クラウドコンピューティングでは、サーバーのラッキング、スタック、電源供給といった手間のかかる作業よりも、自社の顧客に注力できます。

## 2. オンプレミスとクラウドの比較表

	オンプレミス	クラウド
初期費用	<p>× サーバーやソフトウェア・ライセンス、ネットワーク機器の購入等初期費用が高額。数年後の使用量を想定して初期投資が必要。</p>	<p>◎ 初期費用無料が一般的。低コストでスタートでき、必要なときに必要なだけサーバー増減が可能のため、コストを最適化しやすい。</p>
月額費用	<p>△ 固定費負担。使っていない分も支払う。</p>	<p>◎ 使った分だけ支払う。</p>
インフラ調達期間	<p>× 機器調達に、数週間から数ヶ月かかる。</p>	<p>◎ アカウント登録後すぐに利用できる。Web上から、サーバー台数の増減やスペック変更等が行える。</p>
カスタマイズ	<p>◎ 自前で構築するため、要望にあわせて自由にカスタマイズ可能。</p>	<p>△ IaaS型クラウドの場合、比較的自由度高く使える。</p>
ネットワークセキュリティ	<p>△ 自社内で管理できるが、セキュリティ対策を自前で行う必要あり。</p>	<p>○ サーバ管理は高度な技術のある専門家が行うため、クラウド内での安全性は担保される。</p>
障害対応	<p>× 自社で復旧作業を行う。場合によっては現地へ駆けつける。</p>	<p>◎ クラウド事業者が復旧作業を行うため、インターネット越しに復旧を確認できる。</p>
バックアップ	<p>× 高い費用がかかる。</p>	<p>◎ 容易</p>
ストレージ拡張	<p>× 難しい</p>	<p>◎ 容易</p>
外部からのアクセス	<p>× 追加機器が必要</p>	<p>◎ 容易</p>
運用負担	<p>× 自社負担</p>	<p>◎ クラウド事業者が行う。</p>

## 3. クラウドへの移行とは？わかりやすく解説！

### ・クラウド移行をおすすめする企業

- コストを抑えたい企業
- 容量の拡張を手軽に行いたい企業
- リモートワーク化をしたい企業

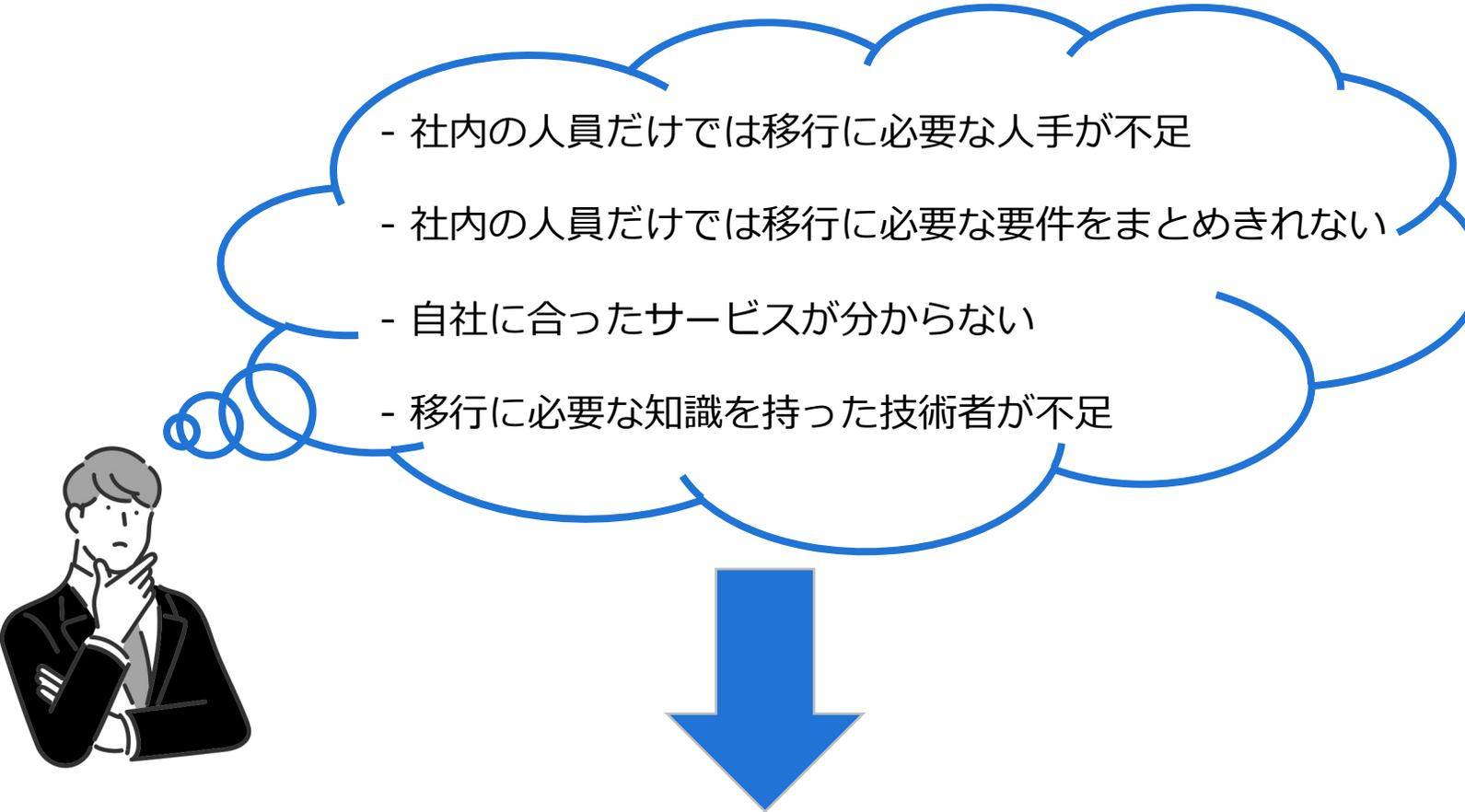


### ・オンプレミスからクラウド移行の手順

ステップ 1	事前調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>- ゴール設定</li> <li>- 情報の「整理」と「棚卸し」</li> <li>- 移行対象の選定</li> <li>- 実機調査</li> </ul>
ステップ 2	移行計画と準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>- クラウドの移行方法設定</li> <li>- データ移行計画の検討</li> <li>- 社内関係者・外部との連携調整</li> <li>- マイルストーンの設定</li> </ul>
ステップ 3	システム切り替え	<ul style="list-style-type: none"> <li>- 連絡体制の構築</li> <li>- 切り戻しの基準やタイミングの設定</li> <li>- 要員計画</li> </ul>

## ・クラウド移行にはパートナーの存在がとても重要

「専任の技術者がいない」そんな不安に対して、AWSの活用を支援する「APNパートナー」からの支援を受けることが可能です。

- 
- 社内的人员だけでは移行に必要な人手が不足
  - 社内的人员だけでは移行に必要な要件をまとめきれない
  - 自社に合ったサービスが分からない
  - 移行に必要な知識を持った技術者が不足

## ・AWSパートナーネットワーク (APN) の有効活用

パートナーにはティア(Tier)と呼ばれる**4つ**の階層があります。

- プレミア
- アドバンスド
- セレクト
- レジスタード

「どんなパートナーがあるの?」、「どこのパートナーにお願いすれば良いのかわからない」そんなお悩みに対して、自社が必要とする領域にマッチしたパートナー様のご紹介支援もさせていただいております  
下記URLで適任のAPNパートナー様が検索できます。

<https://partners.amazonaws.com/jp/>



## 4. Windows Server 2012/2012 R2 サポート期限終了はクラウド化の チャンス！

### ・サポート期限終了しても使い続けるリスク

2023年10月にWindows Server 2012/2012 R2の延長サポートが終了します。これらのOSをお使いの場合はサポート終了する前に出来るだけ早く最新OSへ移行する必要があります。

	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
Windows Server 2012/2012 R2	2018年10月～延長サポート		× 2023年10月10日終了							
Windows Server 2016	メインストリームサポート	2022年1月～延長サポート				× 2027年1月12日終了				
Windows Server 2019	メインストリームサポート		2024年1月～延長サポート						× 2029年1月9日終了	

### ・サポート終了時のリスク

#### ① セキュリティリスクの増大

セキュリティパッチが適用されないため、新たな脆弱性を対象としたサイバー攻撃を受ける危険性が極めて高くなる

#### ② サポート対応終了のリスク

サポートが受けられなくなるため、トラブルや障害発生時は自力で対応する必要があり、解決が困難に

#### ③ ハードウェア故障のリスク

メーカーのサポートが終了しているケースが多く、サーバーが故障した途端に業務が継続できなくなりリスクが高まる

## ・サポート終了を契機にクラウドへの移行を

オンプレミスへ移行した場合、次のOSのサービス終了時にまた同じ移行問題に遭遇することとなります。しかしながら、クラウドへ移行した場合、OSサービス終了時のインフラ整備やサーバー機器の入れ替えが不要となります。

## ・クラウド化をオススメする3つの理由

- OSと物理マシンのメンテナンス対応が不要
- コストの最適化
- BCP (事業継続計画) として災害時でも稼働の可能性

## ・クラウド移行のノウハウを無料で学ぶ方法はこちら

**Migrating to AWS :**

AWS クラウドへの移行戦略と、移行プロセスの各ステップの適用方法を学ぶ

<https://aws.amazon.com/jp/training/classroom/migrating-to-aws/>



## 5. クラウドバックアップとは？徹底解説

### ・クラウドバックアップとは

クラウドバックアップとは、クラウド基盤上の**仮想サーバー**へデータを複製・保管する**方法**のことです。クラウドサービスの利用では、資産を持たずコストや手間を抑えることが可能です。また、災害対策、ランサムウェア対策の強化となり、暗号化によって社外端末のデータも安全に保護することができます。

### ・クラウドバックアップによる4つのメリット

コストの節減	<ul style="list-style-type: none"><li>- 初期費用が節減できる</li><li>- 運用経費を節減できる</li></ul>
運用負荷の軽減	<ul style="list-style-type: none"><li>- サーバーの保守、メンテナンスが不要</li><li>- バックアップ先容量の拡張が容易</li></ul>
災害対策	<ul style="list-style-type: none"><li>- BCP (事業継続計画)・DR (災害復旧)を強化できる</li></ul>
バックアップデータの保護	<ul style="list-style-type: none"><li>- ランサムウェアの対策として有効</li><li>- データ損失による復旧リスクを回避する</li><li>- 社外端末のデータを保護できる</li></ul>

## ・クラウドバックアップをおすすめするケース

- ◆ 初期/運用コストを節減したい
- ◆ 担当者の負荷を軽減したい
- ◆ 今後もデータの増加が見込まれる
- ◆ 災害対策を強化したい
- ◆ 保護する拠点多い
- ◆ バックアップデータの二次保管を検討している

## ・AWS 無料利用枠を実践してみよう

無料利用枠で構築する - シンプルな環境でデータを安全に保存できる  
クラウドストレージ

<https://aws.amazon.com/jp/free/storage/>



## ・AWS へのお問合せはこちら

お困りごとは何でもご相談ください。

<https://pages.awscloud.com/Public-Sector-Contact-Us.html>

